

American Rock Lyric Landscape



—アメリカン・ロック・リリック・ランドスケープ—

ロックの歌詞から見えてくるアメリカの風景

文=ジヨージ・カックル

イラストレーション=花井祐介

第28回

ドン・マククリーン 「アメリカン・パイ」

イノセントなロックが消えてしまった(後編)



Don McLean
"American Pie"
United Artists OAS5535 [1971]
EMI-Manhattan
©CDP7 46555 2

「Helter Skelter」はビートルズの曲名でもあり、メチャクチャという意味だ。米カルトの指導者チャールズ・マンソンが映画俳優のシャロン・ティートを殺したとき、チャールズの子分がこの言葉を壁に血で書いたそうだ。「swelter」とは暑さという事だ。《うだるような夏の中、「ヘルター・スケルター」が流れた》というような解釈もできるだろう。

次の「Byrds」は、もちろん鳥ではなくバンド名。《ザ・バーズは「fall out shelter」と一緒に飛び散った》とあるが、この「fall out shelter」とは、核爆弾を落とされたときにその放射性降下物から逃れるための避難施設のこと。50年代後半から60年代前半はいわゆる東西冷戦でアメリカと旧ソヴィエトの関係が非常に悪かったから、核戦争を恐れた多くのアメリカ人がこれを作っていたんだ。《ザ・バーズは》8マイルの高さまで吹き上げられ、腐って芝生の上に落ちてしまった》。「Eight miles high」はバーズの曲名。この作品はドラッグをテーマにしていると考えられたためラジオ局ではブラック・リストに載せられてしまい、これがきっかけとなって彼らは二度とトップ・ク

子を、曲のストーリーにしているからだろう。それではヴァース4から見よう。

(verse 4) Helter Skelter in a summer swelter
The Byrds flew off with a fall out shelter
Eight miles high and falling fast
It landed foul on the grass

催涙ガスに違いない。

While the Sergeants played a marching tune
We all got up to dance
But we never got the chance
As the players tried to take the field
The marching band refused to yield
Do you recall what was the field?
The day the music died?

《軍曹たちが行進曲を演奏している間、僕らは踊ろうと立ち上がったが、その機会がなかった。演奏している連中がフィールドを占有しているからだ。そのマーチング・バンドはフィールドを譲ろうとしな》。この「Sergeants」とは、アルバム『サージエント・ペパーズ』をリリースしたビートルズのことだろう。フットボールの試合では、ハーフトタイムに出てくるバンドが演奏を終えなければチームが試合を始められない。次の詩には《音楽が死んだ時のフィールドは覚えているかい?》とある。ビートルズを例に出し、踊るための音楽だったロックがその姿を大きく変えてしまった

ことを嘆いているのだろう。
(chorus) We started singing
bye, bye Miss American Pie
Drove my Chevy to the levee but the levee was dry

《僕らは歌い始めた。そよなら、ミス・アメリカン・パイ。シェヴィーでレヴィーを走ったけど、そこはドライだった》。ここは前編にも出てきたコーラスの繰り返し部分だ。

And then good old boys were drinking whiskey and rye
And singing this will be the day that I die
This will be the day that I die

《そこにいる男たちはウィスキーとライ麦酒を飲んでた。そしてこの日、僕は死んでしまおうと歌ってた》。これも前編同様の繰り返し部分。続いてヴァース5だ。

(verse 5) And there we were all in

ラスの位置に戻ることができなかった。彼らは飛行機が飛ぶ高さが8マイルなんだと言っていたが、世間は「high」とはドラッグで飛んでることを意味してると理解した。最後に出てくる「芝生」とは、もちろんマリワナのことだろう。

The players tried for a forward pass
With the jester on the sidelines with a cast
Now the half time air was sweet perfume

《(その芝生の上で)選手たちはフォワード・パスを試みた》。「forward pass」とは、アメフトの試合で長距離を前進した時に使うパスだ。《そこには、道化師がギプスをはめてサイド・ラインにいた》。《サイド・ラインにいる》とは、ゲームから外されるという意味。人生に対しても使う。70年代初めにボブ・ディランはバイク事故で怪我をしたあと、姿を消した。この一連の出来事を暗喩しているのだろう。《ハーフトタイムの空気が甘い香水》。これは、マリワナか学生運動の鎮圧に使われた

one place
A generation lost in space
With no time left to start again

「僕らは一つの場所集まることができ
た。でも僕らの世代は、宇宙で迷子になっ
てゐる。もう一度やり直す時間なんてない
んだ」。『Lost in space』は60年代にアメ
リカで人気があったSFドラマのタイトル
でもある。日本でも『宇宙家族ロビンソン』
という番組名で放映されたよね。

So come on Jack be nimble, Jack be
quick
Jack flash sat on a candlestick
Because fire is the devil's only friend
Oh and as I watched him on the stage
My hands were clenched in fists of rage
No angel born in hell
Could break that Satan's spell
And as the flames climbed high into
the night
To light the sacrificial light
I saw Satan laughing with derite
The day the music died



ここからはローリング・ストーンズがオ
ルタモントというレース会場で69年に開催
したコンサートの話になる。『So come on
Jack...candlestick』は、子供の曲の一説だ。
この曲とストーンズの『ジャンピン・ジャ
ック・フラッシュ』にかけ、ミック・ジャ
ガーのことを歌っている。詩では悪魔の唯
一の友達は大だと言っている。『ステージ
上の悪魔(ミック・ジャガー)を見たとき、
僕は手を怒りの拳骨にしていた。地獄で生
まれた天使は、この悪魔の魔法を壊せな
い』。『地獄で生まれた天使』とは、この
ときストーンズのガードマンをしていたヘ
ルズ・エンジェルズ(オートバイのギャン
グ)のことだ。彼らはこの日、ステージで
客の一人を殺した。詩には、『いけにえの
儀式を照らすために火が空に上っていくと
き、悪魔が笑っているのが見えた。まさに
音楽が死んだ日だ』とある。

次に『He was singing』と歌われ、コー
ラスのリピートが入ってヴァース6に移る。
(verse 6) I met a girl who sang the
blues
And I asked her for some happy news

And she just smiled and turned away

「俺はブルースを歌う女の子に会った。
何か良いニュースはないのかと尋ねたら、
彼女は含み笑いで、顔をそらした」。この
女の子は、ぎゅとジャンニス・ジョプリンの
ことだぞい。

I went down to the sacred store
Where I'd heard the music years before
But the man there said the music
wouldn't play

「昔、音楽を聴くことができた神聖なレ
コード店に行くと、そこにいる男がも
ういっけは音楽は聴けなくなると言った」。昔
は店で試聴できたことを言っているのだら
う。フィルモアというライブ会場が閉まっ
たと解釈している人がいるが、まだオルタ
モントの時にはあったから、俺は違うと思
っている。

And in the streets the children
screamed
The lovers cried and the poets dreamed

But not a word was spoken
The church bells all were broken

「道では子供たちが叫んだ」。これは若
者たちのデモを指すのかもしれないし、ヴ
ェトナム戦争のことかもしれない。『恋
人たちは泣いた。詩人は夢を見ていた。でも
誰も言葉を発しなかった。教会のベルは全
部割れていた』。みんなが信じていた60年
代の音楽や夢として希望が、すべてオルタ
モントで失われてしまった。教会のベルが
割れるとは、そういう意味だ。

And the three men I admire most
The Father, Son and the Holy Ghost
They caught the last train for the coast
The day the music died

「そして、僕が一番尊敬する3人、父親
息子、聖霊(つまり至聖三者)は、海岸に
行く汽車に乗ってしまった。音楽が死んだ
日に」。この至聖三者とは、59年2月3日
に飛行機事故で亡くなったバディ・ホリ
ーと、一緒に乗っていたリッチー・ヴァレ
ンズ、ビッグ・ボッパーのことかもしれな

い。彼らが海岸へ行く電車に乗って、音楽
とともに消えてしまったと言っているのだ
と思う。しかし、もしかしたら60年代に暗
殺されたJFKとRFKとMLKの3人の
ことかもしれない。JFKはジョン・F・
ケネディ、RFKは弟のロバート・フラン
シス・ケネディ(ニックネームはボビーだ)、
MLKは人種差別に非暴力的抵抗運動で対
峙したキング牧師(マーティン・ルーサー
・キング・ジュニア)のことだ。この3人
が暗殺されたことは、アメリカの夢がつぶ
されたようなものだったからね。話は脱線
するが、ステイヴ・ヴィー・ワンダーの『ハ
ッピー・バースデー』は、キング牧師の誕
生日を国の祝日にしようという曲だ。

この『アメリカン・パイ』の詩はさま
まな解釈ができる。前編でも触れたが、ド
ン・マクリーンは敢えて詩の意味を語らな
い。アメリカではこの詩の意味を探るイヴ
ェントがあるほどで、話しはじめたら切り
がない。僕もここではほんの一部の解釈し
か披露できなかった。それほど様々な意見
があり、見方があるんだ。でもぎゅとマク
リーンはそれを横目で見て楽しんでるん
だろう。